

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第5部門第2区分  
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-524189(P2001-524189A)  
【公表日】平成13年11月27日(2001.11.27)  
【出願番号】特願平10-545803  
【国際特許分類第7版】  
F 1 6 F 7/104

【手続補正書】  
【提出日】平成17年2月22日(2005.2.22)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】補正の内容のとおり  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

### 手続補正書

平成 年 月 日  
**17.2.22**

特許庁長官殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第545803号

2. 補正をする者  
名称 ハネウエル・インコーポレーテッド

3. 代理人  
識別番号 ~~100064621~~  
郵便番号 100-0014  
住所 東京都千代田区永田町2丁目4番2号  
秀和溜池ビル8階  
山川国際特許事務所内  
電話 03(3580)0961(代表)

6462

氏名 山川 政樹



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容 請求の範囲を、別紙の通り補正する。



## 請求の範囲

1. 内表面、シリンダ内部への圧縮性流体の導入を可能にする充填ポートを有する第1端部およびシリンダ内部を密封する第2端部を有する中空シリンダと、

第1端部および第2端部ならびにシリンダの内表面よりわずかに小さな外表面を有し、圧縮性流体を受け入れる第1チャンバと第2チャンバを構成するようにシリンダの内部に配置されたマスと、

マスの第1端部の近くのその外表面にあり、予め決めた長さの少なくとも3本の溝の第1セットと、マスの第2端部の近くの外表面にあり、予め決めた長さの少なくとも3本の溝の第2セットと、

実質的に摩擦をなくし、シリンダ内でのマスを自立調心させるように、第1セットと第2セットの各溝に配置され、シリンダの内表面に対して支持された1つのボールとベアリングと、

マスをシリンダに取付け、第1方向と反対方向のマスの振動運動を可能にするスプリングと、

第1チャンバと第2チャンバをつなぎ、第1チャンバと第2チャンバの間の圧縮性流体の制限的流動を可能にする制限導管手段とを含むマス・ダンパ。

2. 望ましくない振動を生じる可能性のある構造にダンパを固定する設置手段をさらに含み、構造の望ましくない振動により実質的に実と同じ振動数で、実質的に180度ずれた位相でマスの振動運動が起こり、望ましくない振動の制動が得られるように設置手段が前記ダンパを配置する請求項1に記載の装置。

3. 側部部分と端部部分を有する容器と、

容器の側部部分の近くにある外表面と、第1端部と第2端部を有するマスであって、端部部分の間を振動運動できるように前記容器内に配置されたマスと、

マスの第1端部の近くで、その外表面に設けた予め決めた長さの少なくとも3本の溝の第1セットと、マスの第2端部の近くで、その外表面に設けた予め決めた長さの少なくとも3本の溝の第2セットと、

実質的に摩擦をなくし、シリンダ内でのマスを自立調心させるように、第1セ

ットと第2セットの各溝に配置され、シリンダの内表面に対して支持された1つのボールとベアリングと、

第1端部とマスに接続された第1のバネ手段と、

第2端部とマスに接続された第2のバネ手段と、

マスがシリンダの内部を動くときの制動となるマスを囲むシリンダの内部の圧縮性流体であって、前記圧縮性流体がマスの運動に対して非直線性の抵抗を生じ、所望の予め決めた振動数の振動運動するように、非直線性抵抗の量と、第1のバネ手段と第2のバネ手段のバネ定数と、マスのサイズとを選択する圧縮性流体と、

端部部分を接続して、その間の圧縮性流体の制限的な流動を可能にする制限通路であって、適切な制動が得られるように、圧縮性流体の粘度と通路手段の制限性を選択する制限通路と

を含む、ダンパを取り付ける部材の振動運動を制動するのに使用するマス・ダンパ。

4. 容器の中にバネで配置され、第1の容器端部と第2の容器端部との間で振動できるようになっているマスを有するマス・ダンパの制動を変化させる方法であって、

A. 容器の内表面に接する各溝内に1つのボールを有するマスの端部の回りに設けられた複数の溝を用いて、実質的に摩擦をなくし、シリンダ内でのマスを自立調心させるステップと、

B. 容器に圧縮性流体を充填して、マスの振動の際に、振動の振幅に応じて、流体が運動に対して異なる抵抗を与えるステップと、

C. マスを通る制限通路で圧縮性流体の流通を制限するステップとを含む方法。

5. マスの振動の振動数が、第1の振幅では第1の予め決めた値となり、第1の振幅より大きな第2の振幅では第1の予め決めた値より大きな第2の予め決めた値となるように圧縮性流体を選択するステップをさらに含む請求項4に記載の方法。